

市政記者各位

今年初めて 1,000 人を超えました！

9月15日は「老人の日」 市内の100歳以上は1,057人

9月15日の「老人の日」にちなみ、市内の高齢者の状況をお知らせします。
福岡市は、長寿をお祝いするため、令和7年度中に100歳を迎える方に祝状等を贈呈します。

1 市内の高齢者の状況 ※9月1日現在（年齢は9月15日現在）

- 男女別最高齢者
女性 110 歳（西区在住）
男性 105 歳（2 名：中央区・南区在住）
- 満 100 歳以上の方（大正 14 年 9 月 15 日以前にお生まれ）
1,057 人（男性 121 人、女性 936 人）
- 満 100 歳の方（大正 13 年 9 月 16 日～大正 14 年 9 月 15 日にお生まれ）
428 人（男性 59 人、女性 369 人）

2 100歳の方への敬老のお祝いについて

令和7年度中に100歳を迎える方（大正14年4月1日～大正15年3月31日にお生まれ）552人に、祝状とカタログギフトを贈呈

- ※ 参考資料
- ・福岡市の高齢者の状況
 - ・令和7年「老人の日・老人週間」キャンペーン要綱（厚生労働省）
 - ・福岡タワー「敬老の日」イベントチラシ／福岡タワー株式会社
 - ・「社会奉仕の日」の実施について／福岡市老人クラブ連合会

【問い合わせ】福祉局高齢社会部高齢社会政策課 平野
電話 711-4595（内線 2117）
FAX 733-5914

福岡市では、人生100年時代の到来を見据え、誰もが心身ともに健康で自分らしく活躍できる社会を目指す『福岡100』を進めております。

『福岡100』WEBサイト▷



福岡100
何歳でも
チャレンジできる
未来のまちへ

福岡市の高齢者の状況

1 高齢者の人口構成

令和7年8月末現在

区 分	人 口	比 率
福岡市総人口（A）	1,618,503 人	—
65歳以上人口（B）	361,101 人	B／A 22.3%
75歳以上人口（C）	198,131 人	C／A 12.2%

注1）A、B、Cは住民基本台帳登録人口

※参考 令和2年国勢調査による人口構成

区分	総人口（人）	総人口－年齢不詳（人）	65歳以上人口（人）	高齢化率（％）
全 国	126,146,099	123,214,261	35,335,805	28.7%
福岡県	5,135,214	4,968,674	1,395,142	28.1%
福岡市	1,612,392	1,534,201	338,930	22.1%

注1）高齢化率は、総人口から年齢不詳分を除いた人口に占める65歳以上人口の割合

2 福岡市の高齢者人口の推移

（人口単位：千人）

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総人口	1,237	1,285	1,341	1,401	1,464	1,539	1,612
65歳以上人口	113	142	178	213	254	312	339
高齢化率	9.2%	11.1%	13.3%	15.4%	17.6%	20.7%	22.1%

注1）平成2年～令和2年の人口は、国勢調査による

注2）人口は、100の位を四捨五入

注3）高齢化率は、総人口から年齢不詳分を除いた人口に占める65歳以上人口の割合

～ 100歳のみなさまの声 ～

今年度100歳を迎えるみなさまに伺いました！いくつかご紹介します！

Q ご長寿・健康のために意識していることや活動していることはありますか？

A ・朝、昼、晩の3度の食事をきちんと食べる。

・毎日、ウォーキングを欠かしません。

・身の回りの事で、出来ることは人に頼らず、自分でする。

・頭の体操に、漢字のクロスワードパズル。

・声をたくさん出し、笑うこと。くよくよしない。

・過去の事はどんどん忘れ、今に集中。

・子供達の協力があればこそと思っています。

・長生きの秘訣は、まったく心配事がなく、いつも幸せだと感じていることだと思います。

Q 現在の趣味や生きがいは何ですか。

A ・カラオケ、生け花、習字、フラダンス。

・趣味で手芸をしています。それを知人にあげる事が生きがいです。

・テレビで野球観戦。大谷選手の試合は必ず視聴しています。

・毎日必ず、お化粧する。デパートで洋服を買うのも楽しみの1つです。

・家族との食事会。愛犬とのふれあい。

・孫やひ孫とご飯を食べたり会話をすること。成長を楽しみにしている。

・ひ孫に会うこと。会えない時は日々送られてくる写真や動画を見て楽しんでます。

9月15日は

老人の日

みんなで築こう 健康長寿と地域共生社会

令和7年「老人の日・老人週間」キャンペーン要綱

団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年には、認知症高齢者が584万人あまりにのぼるとの推計が示されており、高齢化の進展により介護や支援を要する方、認知症の方が、今後さらに増加することが見込まれます。

国民の誰もがより長く、元気に活躍できて、すべての世代が安心できる「全世代型社会保障」を実現するため、2040年までに健康寿命を2016年と比べて3年以上伸ばし、75歳以上とするという目標「健康寿命延伸プラン」が掲げられています。＊令和元年5月

現在、増加する認知症高齢者の支援や介護予防、災害時の支援体制づくり等、地域での支え合いや医療・介護・福祉の連携促進により、高齢者ができる限り住み慣れた地域で生活できるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取り組みが各地で進められています。また、高齢者だけではなく、子どもや障害者など地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことを目的とした地域共生社会の実現がめざされています。

高齢社会対策基本法に基づく「高齢社会対策大綱」では、基本的考え方として、

(1) 年齢に関わりなく希望に応じて活躍し続けられる経済社会の構築

(2) 一人暮らしの高齢者の増加等の環境変化に適切に対応し、多世代が共に安心して暮らせる社会の構築

(3) 加齢に伴う身体機能・認知機能の変化に対応したきめ細かな施策展開・社会システムの構築が掲げられています。年齢によって分け隔てられることなく、若年世代から高齢世代までのすべての人が、それぞれの状況に応じて「支える側」にも「支えられる側」にもなれる社会をめざし、全世代の人々が「超高齢社会」を構成する一員として、希望が持てる未来を切り拓いていくことが必要です。＊令和6年9月（高齢社会対策大綱）

高齢者やその家族、地域住民がその人らしく、共にいきいきと地域で暮らし続けることができるよう、多世代交流や就労的活動を含めた介護予防や社会参加の場の充実を図ることが打ち出されています。＊令和4年12月（全世代型社会保障構築会議報告書）

こうした状況もふまえ、老人福祉法が定める9月15日の「老人の日」、同月21日までの「老人週間」を契機として、すべての高齢者が安心して暮らせるまちづくり、高齢者の社会参加・ボランティア活動の促進、高齢者の人権の尊重等、6つの目標を掲げ取り組むことを提唱します。

キャンペーン期間

令和7年9月15日（老人の日）から21日までの7日間（老人週間）

※ この前後の期間にも運動を展開していくことを提唱いたします（ただし、9月1日～9月末日までとする）。

主

唱

内閣府 消防庁 厚生労働省 全国社会福祉協議会 全国老人クラブ連合会 長寿社会開発センター
日本医師会 日本歯科医師会 日本薬剤師会 日本看護協会 日本社会福祉士会 日本介護福祉士会

協

賛

NHK 日本新聞協会 日本民間放送連盟

令和 7 年

老人の日・老人週間

キャンペーンがめざす

6 つの目標

- (1) すべての高齢者が安心して自立した生活ができる、保健・福祉のまちづくりを進め、ふれあいの輪を広げよう。
- (2) 高齢者の知識、経験や能力をいかした、就労・社会参加・ボランティア活動を進めよう。
- (3) 高齢者の生きがい・健康づくり、介護予防等への取り組みを進めよう。
- (4) 高齢者の人権を尊重し、認知症高齢者への支援のあり方や介護問題等をみんなで考え、高齢者や介護者を支える取り組みを積極的に進めよう。
- (5) 高齢社会における家族や地域社会等の役割を理解し、多世代がお互いに協力して安心と活力ある健康長寿社会をつくろう。
- (6) 減災や防災への取り組みに関心を持ち、日頃から地域でのつながりを築こう。

「老人の日・老人週間」の経緯

昭和22（1947）年に兵庫県多可郡野間谷村で行われた敬老行事がきっかけとなり、昭和25（1950）年、9月15日を「としよりの日」としようとする敬老・福祉の県民運動が開始されました。

昭和26（1951）年、中央社会福祉協議会（現：全国社会福祉協議会）が全国運動を提唱。9月15日から21日までの1週間を運動週間として、「老人を敬い慰め、励ますとともに、老人福祉に対する国民的理解を促進し、老人自身もまたその立場を自覚し、新しい社会建設に参加する」ことをうたって様々な活動が推進されました。

「としよりの日」は後に「老人の日」となり、昭和41（1966）年に国民の祝日「敬老の日」へと発展しました。そして、平成13（2001）年の老人福祉法の改正により、9月15日が「老人の日」、同月21日までの1週間が「老人週間」と定められました。

なお、「国民の祝日に関する法律」の改正により、平成15（2003）年から「敬老の日」が9月の第3月曜日となりました。

福岡タワー NEWS RELEASE

敬老の日 福岡タワー展望室無料ご招待

2025 年 9 月 15 日（月・祝）

福岡タワーでは、9 月 15 日の「敬老の日」にちなみ、65 歳以上のお客様を対象にした「展望室無料ご招待」を実施いたします。当日は、タワー内店舗をお得にご利用いただける割引クーポンの配布や、展望カフェでは限定スイーツの販売もおこないます。

ぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。

1. 期 間

2025 年 9 月 15 日（月・祝）

2. 内 容

（1）タワー展望室無料ご招待

対 象：65 歳以上（年齢を確認できるものをチケットカウンターにてご呈示ください）

*同伴者の方は 1 割引で展望できます。

時 間：9:30～22:00（最終入館 21:30）

（2）フォトプロップスの設置

「祝・敬老の日」「まだまだ若いもんには負けん!」「孫と来ました」などのフォトプロップスを展望 3 階フォトスポットに設置します。楽しい記念撮影をお楽しみください。

（3）限定フォトサービスの販売

敬老の日限定のオリジナルフォトフレームが合成された写真を撮ることができます。

時 間：10:00～18:00

場 所：展望 3F 南側 有料フォトコーナー（株）文教スタヂオ）

料 金：1,500 円（税込）

（4）限定スイーツの販売

時 間：10:00～22:00（最終販売 21:30）

場 所：展望 2 階「スカイカフェ&ダイニング ルフージュ」

料 金：1,320 円（税込）

（5）割引クーポンの配布

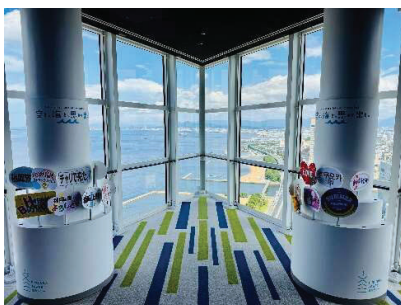
タワー内店舗の人気商品・サービスをお得にご利用いただける割引クーポンを配布いたします。

対 象：展望室無料サービス対象の方 *お 1 人につき 1 枚

場 所：チケットカウンター

内 容：

店 舗	内 容
文教スタヂオ [展望 3F]	写真撮影代 200 円引き
スカイカフェ&ダイニング ルフージュ [展望 2 階]	ご飲食代 50 円引き
博多土産処 博多傳や [地上 1 階]	全商品 5%OFF *一部商品除く
アーティストショップ YokSumu [地上 1 階]	全商品 5%OFF
ソフトクリームショップ 北キツネの大好物 [館外]	S サイズソフトクリーム 50 円引き



・展望 3 階フォトスポット



・フォトプロップス（イメージ）



・敬老の日限定スイーツ

〔本件についてのお問合わせ先〕

福岡タワー株式会社 営業課 担当/坂田

TEL : 092-823-0234 FAX : 092-822-4656 E-mail : sakata@fukuokatower.co.jp

「社会奉仕の日」の実施について

～きれいな地球を子どもたちへ～

1 趣 旨

老人週間を契機に全国一斉「社会奉仕の日」(9月20日)を設定し、老人クラブ参加のもとに「美化活動」や「環境にやさしい活動」に取り組み、地域社会に対する感謝と地域の担い手としての活力を示すとともに、次代により環境を残そうとするものです。

2 主 唱

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 公益社団法人 福岡市老人クラブ連合会

3 実施主体

校区(地区)老人クラブ連合会 単位老人クラブ

4 実施期日

令和7年9月20日(土)を中心とする実施可能な日

5 経 緯

昭和59年 神奈川県・横浜市・川崎市老人クラブ連合会において、9月20日を敬老の日に感謝する「社会奉仕の日」に設定し、一斉奉仕活動を実施

昭和60年 活動が全国10数県に波及

昭和61年 全国老人クラブ連合会において全国三大運動の一つとして一斉奉仕活動(社会奉仕の日)を実施することを決定、全国的に活動が拡大

平成5年 「花のあるまち、ゴミのないまち」をスローガンに採用

平成20年 活動内容に「環境にやさしい活動」を加え、スローガンを「きれいな地球を子どもたちへ」に変更

平成26年 全国三大運動「健康を進める運動」「在宅福祉を支える運動」「老人クラブ『社会奉仕の日』」の推進要綱を統合する。

■令和6年度「社会奉仕の日」実施状況

区 名	クラブ数 ※注意1)	参加クラブ		会員数 ※注意1)	参加会員	
		クラブ数	参加率		会員数	参加率
東 区	116	115	99.1%	4,509	1,993	44.2%
博多区	85	77	90.6%	3,062	1,625	53.1%
中央区	64	63	98.4%	2,154	784	36.4%
南 区	139	131	94.2%	5,414	1,974	36.5%
城南区	50	46	92.0%	1,789	823	46.0%
早良区	73	72	98.6%	3,075	1,708	55.5%
西 区	67	60	89.6%	2,826	1,064	37.7%
計	594	564	94.9%	22,829	9,971	43.7%

※注1)クラブ数、会員数は令和6年12月末現在

お問合せ先

公益社団法人福岡市老人クラブ連合会
事務局 活動推進員 山本

TEL: 092-713-1340 FAX: 092-713-0157

E-mail: sirouren2@hyu.bbq.jp